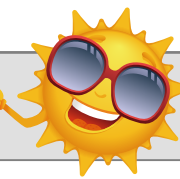


未来の科学のために
科学新聞サイエンスタイムス

Science Times



さあ、科学しよう！

天気の不思議・特異日

7月7日は七夕（たなばた）

夏の夜空を見上げると夏の大三角を見ることができます。夏の大三角はこと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブで形づくられます。

日本でよく語られる七夕の物語の主人公は織姫（おりひめ）と彦星です。こと座のベガは織姫星、わし座のアルタイルは彦星として知られています。仕事をせずに遊んでばかりいた織姫と彦星は、天の神様によって天の川の反対側にはなればなれにされます。二人は一年に一度、7月7日の七夕の夜だけ会えることがゆるされ、織姫は天の川をわたって彦星に会いに行くという物語です。

この物語にちなんで、7月7日には願いをこめた短冊（たんざく）を笹（ささ）にかざるといふ行事をしたり、七夕祭りを開いたりすることが多いです。

そんな七夕ですが、7月7日はあいにくのくもり空だったり、雨が降ったりすることが多いことでも有名です。

特異日とは何か？

ある天気が「その前後の日とくらべて」大きな確率（かくりつ）であらわれる日のことを特異日（とくいび）といいます。たとえば、ある決まった日が毎年晴れであることが多いとしても、その前後の日も晴れが多い場合は、特異日にはなりません。

7月7日の七夕はくもりや雨の日が多いですが、これは特異日ではありません。7月7日はちょうど梅雨（つゆ）の時期のため、7月7日だけではなく、その前後の日もくもりや雨になる日が多いのです。

東京の特異日を例にとると、次の日があてはまります。
1月16日は「晴れ」、3月30日は「雨」、6月1日は「晴れ」、6月28日は「雨」、8月18日は「猛暑」、9月12日は「雨」、9月17日、26日は「台風が上陸」などです。
ちなみに、特異日が起こる理由にはいろいろな説がありますが、はっきりとはわかっていません。単なるくうぜんではないかという考えもあるのです。

天気予報の降水確率

天気予報で「〇〇県の明日の降水確率（こうすいかくりつ）は50%です」というような発表を聞いたことはありませんか？

運動会や遠足、遊びに行く前の日は、当日の天気が気になって、だれしもが天気予報を見たくなるものですね。ところで、天気予報の降水確率が何を意味しているのかを知っていますか？

気象庁（きしょうちょう）が発表する降水確率は、決まった時間の間に1mm以上の雨が降る確率をあらわしています。降水確率は「雨が降る」か「雨が降らない」かを確率であらわしています。「降水確率90%」の場合は、「このような天気のようなすが100回あったとすると、そのうち90回は1mm以上の雨が降りますよ」ということを意味しています。

雨が降るか降らないかを意味しているだけなので、強い雨なのか弱い雨なのか、雨が長い間降り続くのかすぐにやむのか、というようなことをあらわしているわけではありません。つまり「降水確率100%」だからといって、大雨が降るとはいうわけではないのです。

もう1つのポイントは「1mm以上の雨」という言葉です。降水量とは一定時間に雨量計に入った雨や雪の量をあらわします。「1時間の降水量1mm」というのは、1m²の面積に1mmの高さまで雨が降るということで、体積であらわすと、100cm×100cm×0.1cm=1000cm³=1Lということです。人によってちがいますが、降水量1mmをこえると外を歩くときにかさが必要になると感じます。降水確率はあくまで「1mm以上の雨」が降る確率をあらわしているのです。1mmよりも少ない量の雨が降るかどうかはわかりません。「降水確率0%」だったとしても、ちょっとした雨が降る可能性があるということなのです。

いろいろな天気記号



【ヨコのかぎ】

- 骨（ほね）のようすを年齢（ねんれい）にてらし合わせたもの。×線でさつえいして調べる。
- 丸くて、細長くて、中に何も無いもの。「くだ」とも言う。
- 細長い三角形の旗（はた）。日本のプロ野球はこれを争って試合をする。
- 地面のくぼ地に水がたまっているところ。湖よりも小さい。
- ヒトが口や鼻で息をすると、ここを空気が通る。先は肺（はい）につながっている。
- 東京都の中のこと。
- ほうほうと生えてきたら、みんなでおしる。グラウンドや公園や庭にたくさん生えている。
- 昔の日本の時刻（じこく）の数え方で、午前2時～2時半ごろ。怪談（かいだん）では、このころによく幽霊（ゆうれい）が出る。とされている。

カガクロスワード

科学にまつわるクロスワードで脳のトレーニング！
A～Eに入る言葉を順番にならべると何になるかな？

1		2		3	4
				5	
	E				B
6	7		8		
		A			
9			10	11	
12				14	
15					
			C		

【タテのかぎ】

- 1546年にポルトガルからカステラとともに日本に伝えられたと言われているおかし。
- ものに決められている金額（きんがく）のこと。
- 順番になって長くならぶこと。おいしいラーメン屋さんの前によくできる。
- 少しだけはなれた前の方のこと。ここには闇（やみ）があることで有名。
- あるとは思えないほど少ないこと。
8. コウノトリのなかまで、白い羽毛に赤い顔、長くちばしが特徴的（とくちょうてき）な鳥。学名は「ニッポニア・ニッポン」。新潟県佐渡市で保護されている。
- 2つの線や面がまじわって作る角の大きさのこと。単位は度。
- そのものが示す内容のこと。これを調べたいときは辞書（じしょ）を使う。

世界は広い！いっぱいあるぞ！

今月の世界〇〇コーナー

◆世界一の湖VS日本一の湖

世界一面積が大きな湖は、ロシア、アゼルバイジャン、イラン、トルクメニスタン、カザフスタンの5カ国にまたがっているカスピ海です。その面積は日本とほぼ同じ大きさで、日本一面積が大きな湖である琵琶湖が約558個も入るといふ大きさです。

これだけ大きな湖なので、たくわえている水の量もとても多いです。世界中の湖にたくわえられている水のおよそ40～44%がカスピ海にたくわえられているのです。

ちなみにカスピ海はハザル海、マーザンダラン海とよばれることもあります。

日本：377923.14km²

琵琶湖
670.33km²

カスピ海
374000km²

動植物探検隊

身の回りの自然を見つけよう！

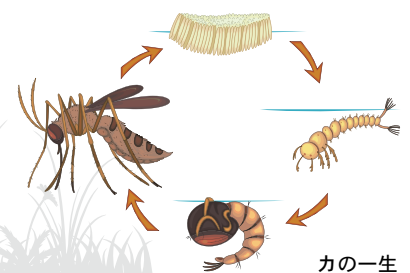


～蚊柱をつくるユスリカ～

夏の夕暮れに外を歩いたとき、小さな虫の集まりの中にとびこんでしまったことはありませんか？これは蚊柱（かばしら）といいます。蚊柱をつくるのは、蚊のなかまやユスリカがほとんどです。ユスリカは名前に「カ」とついています。蚊のなかまでなく、ハエのなかまでです。蚊ではないので、人をさすことはありません。

ユスリカは水面や水面上にういている植物にたまごを産み、1～3日でふ化します。ユスリカのような虫は赤い色をしているのでアカムシとよばれ、魚のエサとして利用されています。赤い色をしているのは、ヒトの血液にもふくまれているヘモグロビンを持っているからです。水中で生活しているアカムシはやがてさなぎになります。さなぎになると水面に向かい、そこで羽化をします。

ユスリカの成虫の寿命（じゅみょう）はわずか1～3日です。成虫には食べるための口がないので、エサをとることもできません。残されたわずかな時間でなかまをふやし、たまごを産むために、ワッと集まっているようですが「蚊柱」なのです。



カ的一生

優学習会

ホームページ <http://www.suguru.jp>